

2011年3月23日

消費者の皆様
生産・流通・販売の皆様
行政・メディア・専門家の皆様

食のコミュニケーション円卓会議
代表 市川まりこ

放射能の検出された野菜などの取扱いについて意見とお願い

地震と津波による未曾有の大災害により被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々やご遺族に対してお悔やみ申し上げます。また、福島第一原発の問題解決に尽力されている方々には深くお礼申し上げます。

私たちは、福島原子力発電所の事故に関連して、食品中の放射能検出による様々な風評被害が起きないことを願っています。そのため、科学的情報を信頼して、感情的・独善的な判断は避けて欲しいという思いを込めて、以下に、放射能の検出された野菜などの扱いについて意見とお願いを述べさせていただきます。

1) 消費者の皆様、落ち着きましょう！

過剰な不安に駆られた行動で、消費者が得することは有りません。

私たちは、これまで「食の安全」について学んできました。暫定規制値のレベルの食品中の放射能はただちに健康に問題ない、と専門家が言う意味は、この先、その食品だけを一生食べ続けたりしない限り、特に心配ないということだと分かりました。出荷規制が解除されたら、購入して安全を信頼していることを購買行動で示しましょう！私たちは、信頼できる情報を集めて勉強した結果をこちらにまとめましたので、ぜひ見てください。

(→<http://food-entaku.org/20110311.htm>)

2) 生産・流通・販売者の皆様、消費者はちゃんと分かっているのです！

「洗えば十分に安全なら洗って食べよう」と思うのが普通の感覚です。行政の強制的な処分なら仕方がないとしても、「当社では安全と確信できない」などの一方的な判断で店頭から撤去等して、消費者に迷惑をかけないようにと願っています。

どうぞ、流通や販売側の勝手な判断で、十分安全に食べられるものを廃棄処分などしないで下さい。被災地をさらに苦しめる風評被害に手を貸したくない！そう願っている消費者の側に立ってください。

3) 行政、専門家の皆様、もっとわかりやすく繰り返し説明して下さい！

暫定規制値を超えても安全ですといいながら、出荷停止を命令するのはなぜかと、ふつうの消費者は混乱します。何か隠しているのではないかと疑心暗鬼になります。何の為の規制値なのか、繰り返し分かり易く説明してください。本当に安全性の問題なのか、気分の安心のためなのか、区別して考えたい消費者がいます。残留農薬の基準値違反などの処置のような失敗や混乱を繰り返さないでください。

今回の暫定規制値の元になった原子力安全委員会の指標値は、専門家の皆様が細心の注意を払って作成されたものと思います。その様々な考慮の内容について、その意味するところを、いちばん重要なポイントを誰でも理解できる言葉で率直に消費者に伝えてください。放射線や放射能を「正しく怖がる」とはどういうことか、今こそ、現実に役立つ生きた知識として教えてください。